

## ブラジルの方による「ブラジル事情とこれまでの日本での学習経験」

○AさんとBさんによる。ともに日本語会話はかなり上手。

A: 中3で来日した。日本語は何も知らなかった。最初は楽しかった。周りの子もいろいろ助けてくれた。でも楽しい期間（ハネムーン）は3ヶ月ほどで終わった。学校での組織的な日本語指導はなかった。保健師さんが教えてはくれたが、日本語の教え方を分かっておらず、とても難しかった。何も分からないのでお客さんになり、そのうち不登校になった。中3から高校への進学の情報は何もなかった。先生達は何かしてくれていたらしいけれど。

家族と離れて一人でブラジルに帰り、ブラジルの高校に進学した。勉強が好きだったからブラジルでは楽しかった。日本での一年間は完全に「空白の一年間」で、忘れたい記憶だった。でも周りからは「日本に一年も住んでたんでしょ？日本語を教えて」と言われて辛かった。それもあって、ブラジルで日本語教室に行った。KUMONの教室で週2回1時間教えてもらった。先生はとてもきびしかったけれど上手に教えてくれた。日本事情もたくさん教えてくれた。そのうち、家族の関係で、戻りたくなかったけれど日本に戻った。2回目の日本は日本語もできたし日本事情も知ってたから前よりとてもラクだった。

B: 中3で来ると、先生もいっぱいいっぱいなんだと思う。私は飯田の小学校に行った。教頭先生がいい人で、毎日他の外国の子と一緒に取り出しで教えてくれた。きびしかったけど熱心で、本当はとても優しい先生だった。その教頭先生が辞めた後の次の先生もいい先生だった。教室での授業だけじゃなく、外で食べられる草とかいろいろ教えてくれた。みな忙しいのに、自分のためにやってくれると思うと頑張る。

小学校を卒業して中学になったら急にレベルが上がって難しくなった。親も「あと2年でブラジルに帰る」と言っていたから、「ここで勉強して何になるの」と思ってやる気がなくなり、中2で不登校になった。もし親にブラジルへ帰る気がなければ、不登校にならなかったと思う。

日本にもいい先生はいた。日本でしてはいけないことを分からないでした時に、叱ったうえで「どうしてダメなのか」を一つ一つ丁寧に説明してくれた。それは理解できた。

A: 中学ではイジメがひどかった。特にブラジル人からのイジメ。日本人からのイジメはそんなになかった。日本語ができるブラジル人ができないブラジル人をイジめる。それを早親に言ったら学校に行って先生に相談したけど、先生は何もしてくれず、かえってヒドくなった。イジメられている子が誰にも何も言わないのはよく分かる。

A: ブラジルでは、学校から家に帰ったら誰かいて、いろいろ相談できたのに、日本では両親とも働いていて家に誰もいなくて、全然相談できなかった。

A&B: ブラジルには落第と飛び級がある。できる子は飛び級でどんどん上の学年に行くし、できない子は落第してもう一度同じ学年をする。日本の「年齢主義」と全然ちがう。

2月から12月までの授業で4学期に分かれている。学期毎に期末テストがあって、

400 点満点で 70%とれないと進級できない。これは小 1 から毎年。期末テスト毎に必死になるから、日本のように高校受験、大学受験のような数年に一度の大きな一発テストの意識を持ちにくい。

A&B：大きな受験のような「将来の大事に備える」という意識をブラジル人は持ちにくい。まず目の前のこと（期末テストなど）を何とかしなきゃと考える。今日食べるものを何とかしなくちゃという貧しさも問題。

A&B：日本の「集団主義」という発想もない。「個人主義」。だから日本の学校に来ると何でも集団でやるので、すごく戸惑う。

A&B：小学校で子供が足を組んで斜めに座っているのは普通。先生が教室に入っても特に挨拶はしない。先生もそれが普通で、当たり前のように授業を始める。

A&B：ブラジルの親は子供に強迫観念を植え付けて指導するということがある。「ちゃんと勉強しないと、あなただけ日本に残して私達はブラジルに帰るよ」のように。

A&B：最近、ブラジルの人をクビにしてアジア系の人を雇うようになった工場も多い。それもあって、永住権をとろうというブラジル人が増えている。これは「日本にずっと住みたいから」じゃなく、「今とっておかないと将来は難しいから」。

A&B：ブラジル人は置いてある文書やパンフレットを丹念に読むという習慣がない。だから市役所に実は役に立つ広報誌が置いてあっても読まない。だから情報が入らないで困っている。インターネットの情報があっても、あまり読まないんじゃないかと思う。むしろ、人気があるブラジル食材店に大きな見やすいポスターを貼って情報提供すれば、それを見て来る人はいると思う。

とにかく「ロコミ」が重要。だからネットワークを作ることが大事。